



2016/3/22 シンポジウム

# 再エネ×パリ協定 なじょすっぺふくしま

## ～ふくしま発・再生可能エネルギーで描く持続可能な未来～

2015年12月12日、COP21（国連気候変動枠組条約第21回締約国会議）で、歴史的な温暖化対策「パリ協定」が採択されました。地球の気温上昇を産業革命前から1.5℃・2℃未満に抑制する長期目標に向かって、継続的に対策を強化し、化石燃料ゼロ、再生可能エネルギー100%の未来に向けて舵を切ることが期待されています。

パリ協定は、2040年に再生可能エネルギー自給100%を目指す「ふくしまエネルギービジョン」を宣言した福島県にとって、大きな追い風と成りえます。このシンポジウムでは、難しく考えがちなエネルギーと温暖化の問題を改めて丁寧に解説し、最新のパリ協定までを含めて「自分ごと」と捉え、これからの「私たちのできる事（地域として、企業として、個人として）」を考えます。

申し込み：Emailまたはウェブサイトよりお申込みください

電話：03-3263-9210 Email：[tokyo@kiconet.org](mailto:tokyo@kiconet.org) URL：<http://www.kiconet.org/event/2016-03-22>

主催／ 気候ネットワーク

共催／ A SEED JAPAN、すずめの未来市、ふくしま再生可能エネルギー事業ネット、  
パワーシフトキャンペーン実行委員会、オックスファム・ジャパン

※本シンポジウムは、平成27年度独立行政法人環境再生保全機構地球環境基金からの助成を受けて開催いたします。

# 3/22



開始 13:30 (13:15 開場)

終了 16:30



会場 コラッセふくしま

会議室 402 AB (4F)

費用 無料

【プログラム (予定)】

- 第一部：福島県のエネルギー自給の現状と課題  
近藤恵氏(飯館電力)、新妻香織氏(ふくしま市民発電)、  
遠藤裕子氏(ふくしま再生可能エネルギー事業ネット)ほか
- 第二部：COP21・パリ協定の歴史的合意と今後の地域への影響  
平田仁子氏(気候ネットワーク)、土谷和之氏(A SEED JAPAN)
- 第三部：分科会・ふくしまエネルギービジョン2040 徹底議論  
①なんだべ？再エネ・パリ協定：吉田明子氏(FoE Japan)ほか  
②なじょすっぺ？再エネ・パリ協定：松原弘直氏(ISEP)ほか



アクセス：福島駅西口より徒歩3分